

令和7年5月27日

医療事故の公表について（令和6年10月～令和7年3月報告分）

赤穂市民病院

赤穂市民病院では、より良いセーフティマネジメントの確立及び医療事故に関する透明性の確保をするとともに、患者様やそのご家族、市民や地域に対し誠実に対応するため、医療安全対策実施要項の規定に基づき、下記のとおり医療事故を公表します。

記

（包括公表）

発生年月	概要	原因	再発防止策
令和7年2月	全身麻酔での緊急手術後、呼吸状態の悪化があり、呼吸管理を行った。	全身状態不良患者の緊急手術であり、全身麻酔、手術による侵襲のため、急激な呼吸機能の悪化となった。	・全身状態不良患者の緊急手術の場合は、特に周術期の全身状態管理をより慎重に行う。
令和7年2月	術後の検査で出血を認め、止血手術を行ったが、術後合併症が発生した。	出血の原因確定はできなかったが、腫瘍からの出血、循環動態変化の影響が推測される。	・手術において、閉創時の止血操作に徹底した細心の注意を払う。 ・術中、術後の循環動態等慎重に全身管理を行う。
令和7年3月	リードレスペースメーカー埋込術後にペーシング不全の可能性があり、従来型の再埋込み術を行った。	通常より心臓が時計方向に回転した状態を踏まえ実施したが、埋込後、心臓の動きとペースメーカーの不調和が生じた。	・患者の心肺の解剖学的特徴をもとに、より慎重に確認しデバイス留置を行う。